

校友会誌



平成 19 年 3 月 8 日
発行
名古屋工学院専門学校校友会
名古屋市熱田区神宮四丁目 7-21
電話 (052)681-1311 (代)
URL <http://www.denpa.ac.jp/>

< 第 48 号 >

懐かしの「トンツォ節」

会長 倉田 豊行

神奈川県民謡のダンチヨネ節の替え歌である伝統のトンツォ節を始めて拝聴したのは昭和四十三年、私が一年生の時でした。私の記憶違いもあり、先輩方に叱責されるかもしれませんが、その歌詞の抜粋を列挙しますと、「欧州航路とヨー 名は良いけれどヨー 残るあの娘はヨー どおなさるソカヨー」「一通取ろうとヨー やっては見たがヨー 何も取れずにヨー 卒業するソカヨー」

創立五十五周年を迎えまして

校長 小川 明治

本校は、今年で創立五十五周年を迎えます。早いもので五十年史を編纂して五年の歳月が流れました。創刊の準備をしていた頃が、懐かしく想い返されてきます。

創立百周年という新たな半世紀へ向けて、原点と進化を見据えた積極的な展開を図っていかねばならない時期であると思います。

我が国の教育全体を通して見つめますと、現在、教育の現場に於ける深刻な出来事は、教育基本法はじめ諸関連法の

「マスト折られてヨー 帆綱も切れてヨー」そこで局長さんはヨー SO ソカヨー」「泣いてくれるなヨー 出船のときにゃヨー 沖でトンツォのヨー 手が鈍るソカヨー」と、懐かしさで一杯です。校友会誌「かもめ」の表題である「かもめ」は、ダンチヨネ節の四番の歌詞である、沖の鷗にヨ 潮時とえばヨ わたしや立つ鳥サ 波にとえダンチヨネ」から拝借されたものと勝手に推測するのですが？そして、二年次の体育祭において、応援団全員の腰に電鍵をぶら提げて、トンツォ節を歌いながら踊ったことが懐かしく想い出されます。

見直しに多くの課題を提起しています。

さて、高齢化時代を担って強く逞しい生活設計をしていかなければならない筈の若者の中に、自ら確信のもてる職業に就いていない人達が多い現状があります。職業に対する抱負はもっていても、具体的な職能が伴わないという乖離（かいり）も存在するといわれています。

文部科学省、厚生労働省および各都府も平成十六年度から具体的に専修学校教育に期待する事業の推進に取り組み始めています。「専修学校教育重点支援プラン」、若者の職業意識の高揚を図る「専修学校を活用した職業意識の啓発推進事業」などキャリア・アップのための諸プランです。

少し懐古的ですが、「温故知新」という箴言があります。わが校友会も五万余名余りの会員を有しており、五十五年の歴史のうえに現在の学校も存在しております。伝統を大切に、一層飛躍することが先輩への恩返しではないでしょうか。

そして、先輩方も立派に社会に旅立つことを念願し、切望しているものと思います。卒業される皆様方に次の言葉を贈りたいと思います。「波浪は、障害に遭うたびに、その強固さを増す」、あらゆる苦難にも負けず、勇躍前進することを願っています。

人口減少と少子高齢化という大きな社会的背景のなかで今や急務となった職業教育のニーズに積極的に応えていくのが私たちの重要な役割であると認識しております。

本校の建学の精神はじめ教育理念は、いつの時代でも変わることのない教育の指針であると確信します。

益々寄せられるご期待に感謝しつつ、更なる発展をめざし、邁進していく所存です。

校友会の皆様におかれましては、ますますのご発展とご活躍を祈念いたしますとともに、今後ともご支援のほどよろしくお願い申し上げます。

『ゲームと人』

ゲームサイエンスト科

平成18年卒 岡田 耕一

あなたはRMTを知っていますか？

RMTとは Real Money Trade の頭文字をとったものでゲーム内のアイテムや通貨と現実の金銭とを取引する行為をさします。

RMTの利点としてプレイ時間を確保できないプレイヤーは時間を節約することができ、逆に時間はあるが金銭的に余裕のないプレイヤーはゲームを通じて収入を得ることができるところがあげられます。これが近年台頭してきたMORPGのゲーム性とも相まってRMTは活発に行われるようになってきています。

しかし受け渡しの際に詐欺行為が行われたり、ゲームプレイへの影響を懸念してRMTを禁止行為とする運営会社があったりとまだまだ発展途上なところもあります。

また、一方では運営側がRMTの代行サービスを行って手数料から収益を上げたり特定のアイテムを有料で販売したりと、RMTをただの問題として片付けるのではなくうまく利用しようとする動きも出てきました。

ところで、私は過去にRMTに関して驚くべきシステムが盛り込まれたMORPGをプレイしたことがあります。

そのゲームでは資源採掘や生産などのプレイヤー間での商業に重点を置いていたが、基本システムは一般的なMORPGと大差ありませんでした。

ではいったいどこにRMTを取り入れていたかというところ、驚くことにこのゲームではゲーム内通貨と現実の通貨を換金するシステムがあったのです。

私も始めてこのゲームを知った時はびっくりしました。今までのRMTとは違い取引相手は運営そのもの。おまけに換金レートが1:1と決まっています。こうなるとゲーム内の資源、道具、土地の権利まであらゆるものが現実の通貨との換金性をもちますので、言わずにはゲーム内でのあらゆる取引がRMTとなるわけです。

こうした新しい形態のゲームが年々発表されていく様子を見ると技術の進歩やゲームというビジネスの変化を感じさせられます。

またそれに伴ってプレイヤーのゲームに対する接し方もどんどん多様化しているように思います。

一昔前までなら非常識と思われるたり、あるいは妄想と思われていたことも現実のことになりました。

「ゲームの中で金持ちになったからといって、現実の世界で金持ちになれるわけではない」、なんて言葉が過去のものになるのもすくくもしませせん。

『振り返る余裕を』

情報管理室 主任 小野 幸宏

今年は2007年亥年。その前の亥年は、1995年。振り返ると、1995年ごろからインターネットは一般に普及し始めました。昨年は「おとこと言う言葉も、よく見たり聞いたりしました。なにが変化があったのでしょうか。インターネット利用は当たり前と思って毎日使われている方は沢山いらっしやるでしょう。

ちょうど、干支も一回りしたので、12年前と現在のインターネットの世界の変化を振り返ってみましょう。

一、ホームページは読むだけ見るだけのメディアから、さまざま機能が利用できるWebサービスになりました。オンライン辞書を使っていますか。路線検索を使っていますか。オンラインショッピングを利用していますか。

二、ホームページを構築できる人も、一部の掲示板でしか発言できなかった人も、気軽にWeb上で自由に発言参加できるようにになりました。ブログ、O&Aサービス、ソーシャルネットワークサービスなどを利用していませんか。

三、二に関連しますが、誰もが自由に発

言できるようになったので、読む側は沢山の情報を集めやすくなりました。その結果、プロの記事より一般の人による口コミ情報を重視することが増えていませんか。例えば、一般ユーザによるレビューや感想、評価を見つけて参考にしていますか。

四、オンラインショッピング、価格検索求人検索、商品検索等の大量データ検索システムを利用していませんか。

これ以外にも変化はあると思います。が、紙面の都合上割愛させて頂きます。しかし、ずいぶん変化していました。12年後には、どのような世界になっているのでしょうか。考えてみてください。

今回は、インターネットについて振り返ってみました。振り返ることによって多くの事がよく見えてきて、多くのことがよく学べ、多くのことをよく考えることができます。日々、忙しい皆さん、自分で時間を作って、色々な事を振り返る余裕を持つてはありますか。学び考える余裕がなければ変化に適應できず、社会から必要とされなくなってしまうかもしれません。

亥年だからと言って、猪突猛進だけではだめ。進むことは大切ですが、時々立ち止まり、振り返る余裕を持つてはありませんか。

平成十七年度 校友会事業経過報告

年月日 事業内容

17・5・19 校友会常任役員会開催

17・6・25 校友会支部長総会開催

17・7・29 メールマガジン「かもめ」発信

17・9・17 校友会沖縄支部総会開催

17・10・4 校友会常任役員会開催

17・10・13 メールマガジン「かもめ」発信

17・10・21 校友会奨学生に奨学金貸与(8名)

18・2・23 校友会常任役員会開催
(校友会奨学生追加審査)

18・3・9 校友会賞状受賞者決定・授与(28名)

18・3・9 校友会誌「かもめ47号」発行

18・3・23 メールマガジン「かもめ」発信

18・4・11 会誌(一一三〇通)発送

17・4・18・3 卒業生による在校生への講話

17・4・18・3 校友会館運営

各支部長

および支部連絡先

東京支部長 新川 美浩

五十六年第一部電波通信学科卒

支部担当 池戸 博行

i.keido@enpa.ac.jp

大阪支部長 田邊 和哉

四十七年第一部電子計算機科卒

支部担当 岩井 敬典

i.wat@enpa.ac.jp

富山支部長 中島 光憲

四十九年第一部テレビ技術科卒

支部担当 土肥 和紀

doi@enpa.ac.jp

石川支部長 坂本 守

五十一年第一部電子工学科卒

支部担当 佐々木 昇

sasaki@enpa.ac.jp

福井支部長 山崎 利治

四十年第一部電気通信科卒

(活動休止中)

支部担当 松岡 昇

noboru.natsuka@enpa.ac.jp

三重支部長 瀬崎 雄司

三十七年第一部電気通信科卒

支部担当 下里 充

shi.mosat@enpa.ac.jp

四国支部長 松浦 正昭

三十四年第一部本科卒

支部担当 高須 真人

takas@enpa.ac.jp

沖縄支部長 上原 盛善

四十九年第一部電波通信研究科卒

支部担当 堀内 豊

horiuchi@enpa.ac.jp

支部担当連絡先

名古屋工学院専門学校

校友会各支部担当者

電話 052-681-1311(代)

二十七期校友会常任役員

会長 倉田 豊行

副会長 坂田 和義

副会長 池戸 博行

書記 木下 幸弘

書記 平石 清

会計 伊与田 茂

幹事長 井東 秀樹

幹事 村岡 好久

幹事 根岸 雅巳

幹事 岩井 敬典

幹事 寺町 慶文

幹事 武田 善之

幹事 杉村 博行

幹事 土肥 和紀

幹事 隈元 良一

幹事 松田 栄代

幹事 岩田 正樹

幹事 伊藤 真一

幹事 内山 長久

幹事 小川 明治

幹事 小川 孝

支部担当

東京支部 池戸 博行

大阪支部 岩井 敬典

三重支部 下里 充

富山支部 土肥 和紀

石川支部 佐々木 昇

石川支部 石黒 誠

福井支部 松岡 昇

四国支部 高須 真人

沖縄支部 堀内 豊

結婚おめでとう

いついそす



次のみなさんは平成十八年一月から平成十八年十二月末までにご祝宴を挙げられました。心からお祝い申し上げます。(敬称略)

國保 諭史 1月29日挙式・四日市市

(平成15年3月・電業技術学科卒)

篠田 誠 2月11日挙式・飯田市

(平成8年3月・電子情報科卒)

林 久仁子 6月10日挙式・中津川市

(平成15年3月・電業技術学科卒)

羽生 洋二 10月14日挙式・福井市

(平成17年3月・電気工学科卒)

羽場崎 恵美 11月11日挙式・飯田市

(平成13年3月・電子情報科卒)

村崎 博樹 12月2日挙式・北名古屋市

(平成5年3月・電子工学科卒)

平成17年度 校友会収支決算書(一般会計の部)

収入の部 合計金額 12,647,660 円
 支出の部 合計金額 12,647,660 円

収入の部		支出の部	
科目	金額	科目	金額
前年度繰越金	1,838,411	会誌発行費	224,000
校友会活動費	2,408,000	特別会計	400,000
預金利息	12	支部結成維持費	1,092,723
50年史編纂委員より返金	8,401,237	講演会費	0
		援助費	5,000
		慶弔費	9,289
		備品消耗品費	31,670
		通信交通費	0
		校友会賞費	53,298
		会議費	0
		行事記録費	0
		会長交際費	33,840
		次年度繰越金	10,797,840
合計	12,647,660	合計	12,647,660

平成17年度 校友会収支決算書(特別会計の部)

奨学金特別会計

収入の部 合計金額 33,521,897 円
 支出の部 合計金額 33,521,897 円

収入の部		支出の部	
科目	金額	科目	金額
前年度繰越金	6,200,869	奨学金貸付金	3,299,000
奨学金返金	3,208,020	貸付繰越金	16,210,600
一般会計から	0	事務・通信費	10,000
預金利息	2,408	次年度繰越金	6,102,297
貸付繰越金	16,210,600	奨学基金	7,900,000
奨学基金	7,900,000		
合計	33,521,897	合計	33,521,897

学園あれこれ 一一七

最近、人里近郊で熊の目撃情報が多い。野生動物だつて必死でつこめいている。そんな中、工學院の先生方もつこめいている。

「光陰矢の如し」、時代の流れは速い。昨日の常識が、今日は通用せず、今日のまさかそんなことが・・・が明日の常識。

これからの時代、厳しい環境を乗り切るためには、先を読む力が求められる。さて、わが学園を振り返ると・・・

「読み」の達人、加藤譲一先生ここにあり。このお方、囲碁の世界ではチョイと名が知れている。十手先程度なら当たり前、二十手先までも読みきつて、早々に相手を降参させる。この技は仕事にも活かされる。

新学期には、各学科の担当者泣かせの時間割編成会議なるものが招集され、すべての先生方の時間割が決められるのだが、実は丸く治めるのは至難の業の史上最強のパスルなのだ。

そこで加藤名人のご登場。時間割のマス目を見つめること数分、凍りついた時間が静かに溶け出し、加藤先生の声が静寂を破る。

「水の3・4、小林の電気機械を木の5・6へ。空いた水の3・4に木下の演習実習室と共に確保」という具合に、難問解決。

この技に心打たれた輩が株の資料を手近寄ってくるが、「技は鍛錬によつて体得するもの」とは手厳しい。

先を読むことの難しさの一つに、天気予報があるが、この天気には泣かされ続けられた下里充先生が複雑な顔をしておられる。悪天候のため4年続けて敢行できなかった体育祭が、5年ぶりに開催された。

体育祭を一手に仕切る下里先生としては、紺碧の空を見上げるだけで感無量無事に成功させたい。気持ちには十分伝わってくる。競技開始前、「皆さんは高校時代と違って運動不足の人が多くは。無理をせず十分に準備運動を」と注意を促し、競技中も周囲に目を配っている。順調に進行していく。予定の競技が全部終了した。最後は整理運動で完結しなければならぬ。それには指令台に

自らが立ち、手本を示さねば。気負いがあつたのだろうか、事件はその時おきた。「次は、腕を高く上げてえ！」次の瞬間「つっ！どつしたんだ腕が上がらない。ぐえっ！下がらない。ほえっ！動かない。どひゃー！みんなが見てるぞ」

頭の中は、真白だけど赤色回転灯が冷たく光る。そのあと自分がどのようにして指令台を降りたのか覚えていない。四十肩が五十肩か。ショックは隠せない。先を読んで来年こそは、と腕をさすっている様子。お大事に。

釣りに道にも先を読むことが必要。魚との「読み」の知恵比べだ。溪流釣りに出かけた松岡昇先生。「読み」は魚だけではなく、背後にも向けなければならぬことを、恐怖の中で悟った。

岩陰から振り出したロッドの先に全神経を集中させていた時、ふと背後に視線を感じ、振り向いた瞬間、毛むくじやらの大型の獣と目が合ってしまった。

ここは熊のよく出る沢で、熊よけの笛を吹きながら登ってきたのだが、まさか釣っている最中に笛を吹くわけにはいかず、心臓が止まるかと思ったぞだが、相手は熊ではなく日本カモシカで難は逃れた。

それにしても、正面から見たカモシカの顔は、人の顔みたいだぞうだ。釣りバカは工學院にも沢山いるようだが、この度、池戸博行先生が釣りに目覚めた。教え子に釣り名人がいて、そこに弟子入りし、師匠として仰いでいる。

映画の釣りバカ日誌を地で行く池戸先生だが、釣果はさっぱり。現在では、入学希望者の一本釣りにご執心とか。釣果は読めるかな。

マルチメディア系職員三名が相次いで結婚された。その中で村崎博樹先生も釣りを趣味の一つにされている。ご本人は「大物を釣った」と鼻息は荒いが、どう見ても釣られたようだ。

奥様は、釣ったと思わせておいて、しっかりと泳がせて（働かせて）おく超名人と見た。最近、村崎先生が人面魚に見えて仕方がない。

泳がせておいて、尻尾を出したところを一網打尽。これ刑事用語の定番。工學院内でも、捜査の手が伸びている事件は、会議室ではなく、職員室で起きた。小バエ発生事件である。そこには、マツモトキヨシで購入した殺虫剤と八工取り棒を武器に敢然と挑むゴトウキヨシ刑事の姿があった。小バエよりも小さな網をはり、地道で粘り強い捜査に、ついに犯人のアジトを突き止め、一件落着しかし後藤刑事に安らぎの時は無い。新たな事件発生だ。

1号館6階トイレの男子用案内プレート、青いシエントルマンの絵マークにマジックでメガネとサスペンダーが書き込まれていたのである。

これは明らかに後藤刑事本人を挑発する大胆不敵とも言える犯行だ。早速捜査に乗り出した後藤刑事だが、時効が成立する卒業式まで時間が無い。果たして敏腕刑事の読みは当たるのか。

その時あなたは、どう動かか。「先を読む」力が必要ですね。（優良可）



『特区効果!』

昨年の『かもめ』で紹介した「特区（構造改革特区）」の認可がおりたことにより、今年度より情報処理技術者試験（国家試験）の特区制度を活用できるようになった。この制度は、別に定める修了試験を校内で受験し合格することにより、毎年4月と10月に実施されている情報処理技術者試験のうち、「基本情報技術者試験」と「初級システムアドミニストラータ試験」の午前の部を免除するものである。

今年度は、新1年生が7月23日に、2年生以上は6月25日と7月23日に修了試験を受験した。この結果、70名の学生が1年間の午前免除の権利を取得し、そのうち45名が本試験である10月の情報処理技術者試験に合格することができた。免除無しで合格したものが7名だったという数字を見ても、特区認可がいかに国家試験の合格者を増やすのに役立つかがわかる。

この制度を活用するにあたり、5月から7月まで毎日のように補習授業を

実施していたため、学生達の負担になるのではないかと懸念していたが、各担任の熱意が伝わったのである。逆にモチベーションを高めることができた。この修了試験は2回受験チャンスがあり、10月の本試験で不合格になったものは、12月17日の修了試験で合格しようと気持ちを入れ直し、学習に励んでいる。このように年間を通して常に目標を持って勉学にいそむことによって、本来あるべき学生像を追い求められたことが、実は一番の「特区効果」であったかもしれない。

なお、この特区制度のほか、愛知県庁新産業課の協力もあって、11月は民間の検定資格を利用した特区制度も認可を受けることができ、ますます「合格への近道」が増えることとなった。専門学校へ入学した学生の多くは、「資格取得」を目標に掲げており、このような取り組みを行うことにより、今後とも1人でも多くの学生に喜びを与えられるような学校づくりを進めていきたいと思う。

(IT王子)

『マイクロマウス大健闘』

過去10年間、マイクロマウス大会で、驚異の快進撃を続けてきている我が工学院チームが、今年も各大会に臨んだ。まずは、夏の暑さを引きずる9月にシーズン幕開け。中部地区初級者大会にて優勝、3位、5位、7位と大健闘。しかし、これらの間に入る偶数位のマウスが、最近力を付けてきている大学チームで、参加クラブ数や人数も増えた。今後油断はできない。

秋になり、10月の中部地区大会。この大会、ニューテクノロジー振興財団が主催し、本校協賛のもとに学園祭イベントの一つとして6号館3階のロボットラボラトリーで親子連れなど多くのギャラリィが見守る中、盛大に開催された。さて、結果は社会人4人に次いで、学生では最高位の5位を獲得。そして、寒くなった11月、いざ全国大会へ。今年の開催地は山形県長井市、名古屋から新幹線を乗り継ぎ7時間かけて乗り込んだ。

全国大会とはいっもの、出場者はシンガポール、韓国、アメリカなど国際色が豊か、いわば日本開催の国際大会といったところだ。

かくして優勝、準優勝はシンガポールからの出場者でトロフィーは海を渡っていった。最近のアジアのレベルは

非常に高い。

そんな中、工学院監督の佐藤先生自らも出場し、監督を頭に7位、8位、9位と大奮闘。特別賞として、山形県産の米10キ口を頂く栄誉に輝いた。この米食べて、来シーズンも頑張るよ。

(ロボ吉)



『情報通信系の話題を二題』

まず、昨年から継承事項でもある就職内定状況だ。景気上昇の局面とは言っても、まだまだ厳しい社会情勢の中、該当の3クラスが、昨年と同様に目標とする年度内100%を達成できそうだ。今年も勿論、目標とする優良企業から多数の学生が内定をいただいた。次に、総務省より認可された「工事担任者A・I・D・D総合種」の認定講座だ。この認定講座により、ほぼ6ヶ月間の勉強で価値ある資格が取得できるようになった。夢のような話ではないか。今年度は、電子情報学科1年生が全員取得を目標に頑張っている。

(テジテジ)

(7)

『電気は熱い!』

今年の電気設備系(電気工学科・電気工学研究科・電業技術学科・電気工事士科)は熱い。

何が熱いかって、雨天続きで5年ぶりに行われた体育祭。電気関係の各クラスのパワーが炸裂。みんな頑張った頑張った。

「総合優勝」電気工学科1年B組(学級担任 平石義博先生)総合得点84点。「準優勝」電気工学2年B組(学級担任 松橋卓也先生)総合得点83点。「第3位」電気工学研究科B組(学級担任 石原昭先生)総合得点74点と上位総なめ、石原先生の連覇は成らなかつたが、すばらしい成果を上げた。

この結果は、先輩クラスが後輩クラスに勝敗を譲ったの？

すばらしいと言えば、幻の電気工学研究科?今年度は2クラス編成。電験3種の合格者もすこけりや就職もすこい。8月中旬には、100%就職内定。上場企業・公益法人への就職内定率72%。内定企業は、中部電力、沖縄電力、JR東海など。過去にない実績と、キャリアセンターの先生が言ってたとか?!よく頑張った、石原先生、K林先生。

またまた熱い。

もちろん電気設備系と言えば電験三

種と電気工事士。今年度は、41名の在学生が合格し、電験三種取得者の合計は73名。13年間連続50名以上達成さらに記録更新中。みんなよく頑張った。なお、今までの実績が認められ6月1日に理事長先生から、表彰を受けた。おめでとー!ありがとー!

よく頑張ったと言えば、電気工学2年B組。第一種電気工事士の筆記試験に38名受験し、全員が合格。目指すは完全合格100%頑張れ松橋先生!果たして結果はいかに?

続くは電業技術学科1年生、筆記試験25名受験22名合格、負けるな梶間先生!

電気設備系は、熱い熱い場外乱闘が続いている。

(新アンシエンマン1)



『ユーザーVSクリエイター』

PS3・Xbox360・Wii が発売され、Windows Vista が登場するなぞ!コン

ピョータ技術は休むことなく発展している。この発展を示す指針の一つに「ムーアの法則」がある。

ムーアの法則とはインテル社の創業者の一人であるゴードン・ムーア氏が1965年に提唱した集積回路技術の成長予測である。最も有名な予想は、集積回路のトランジスタ数が18ヶ月で2倍になるという公式だが、現在では、その指針がCPU等の能力成長の度合いとして考えらるようになっていく。40年経過した現在でも、その予測に近い状態で成長しているコンピュータだが、人間の欲求は留まることを知らず、ムーアの法則を超えて高度に、そして、多様化してきている。

特にゲーム分野においてはその現象は顕著で、CG映像はスターウォーズと同等で、登場するキャラクターはスーパーコンピュータのバグと同じく地表を埋め尽くすくらいなど、更なる負荷を求める要求となっている。しかし、残念なことに、人間の能力はムーアの法則のように急激な進化を見せることは出来ない。そこで、知恵を絞る、無理な要求を実現するのが、ゲームクリエイターの役目となっている。工学院には、このゲームクリエイターを目指し、300名近い学生が、プログラム開発やCG制作について学んでいる。クリエイターの技術習得は、学習

とその技術を利用した作品の制作を繰り返す地味な道なのであるが、学生達は、夜遅くまで学校に残り作品を作り続け、帰宅後も試行錯誤を繰り返している。

厳しく見える学習だが、無から有を創作する喜びは何物にも代え難く、一度喜びを覚えると止められなくなり、無理な要求を自ら考えるようになってしまふ。その要求は、「解像度を下げてください。その要求は、解像度を下げてください。リニアリティは上げる」、「16ミリ秒の処理に機能を追加して10ミリ秒で処理させる」など矛盾も多いのだが、無理難題を自己鍛錬とすることがクリエイターとしての成長の根源となっている。

そのような苦労を重ねた学生を輩出し続け10年余、各マルチメディア分野で活躍している卒業生の噂も聞く事が増えてきた。例年出展している東京ゲームショウでは、多くの卒業生に訪問していただき、ミニ同窓会も開けた。

アマロの欲求に応えるためマグネット・コーディングを用いた連邦の技術スタッフのように、限られた環境でユーザーの厳しい要求に応えるのが、クリエイターの仕事。「綺麗」、「オモシロイ」と感じている映像の向こうに、活躍する卒業生の姿も感じてほしい。

(トリブルクリック)

平成十八年度

母校のおもなできごと

平成18年を表す漢字は「命」でした。1年を振り返ると、命の大切さをどのようにして子供達に伝えたらよいのか、親としてまた、教師として考えさせられる出来事がたくさんありました。さて、工学院では、5年ぶりの体育祭で電気工学科1年B組が優勝、高度情報処理技術者試験など資格試験で実績更新、マインクロマウス、卓球大会など各種競技会で好成績を収めるなど、「命」の輝く瞬間がたくさんありました。

4月7日(金)～4月9日(日)「ICT Open Festival 2006」/ 電子情報研究科の学生が、名古屋市栄のオアシス21で開催された通信と放送の過去・現在・未来をテーマにしたイベントに出展した。
4月10日(月) 第75回入学式
4月11日(火) 始業式
4月14日(金) ゲーム業界とバンドイナムゲームス研究
4月16日(日) 情報処理技術者試験/テクニカルエンジニア(データベース)試験に合格者が出たため、高度情報処理技術者試験の連続合格を7年に延ばす結果となった。



4月21日(金) 第一回・県人会
5月19日(金) 第一回・企業説明会
5月20日(土) 東海地区卒業クラス教育懇談会
5月28日(日) 工事担任者試験
6月3日(土) 第一種電気工事士技能試験
6月4日(日) 第一種電気工事士筆記試験
6月6日(火) ゲーム企画講演会
6月8日(木) 第二回企業説明会

6月17日(土) 寮對抗球技大会/毎年、寮生の親睦を図るために開かれるボウリング大会。会場は名古屋エースレーン。今年の優勝は、明治寮の今津友寿君(電業技術学科2年)
6月23日(金) 中部電気産業育英会企業説明会
6月24日(土) 校友会支部長総会
6月23日(金)～7月17日(金) 教育懇談会/県人会担当教員が各地区へ赴き保護者との面談を行った。(会場/長野、松本、飯田、那覇、名護、宮古、富山、金沢、福井、長浜、沼津、静岡、浜松、高山、尾鷲)
7月18日(火)～8月7日(月) 第38回ハワイ大学研修/今年度の参加学生は59名、工学院からは19名が常夏の



島ハワイに向け出発した。引率は安藤春行先生。
7月22日(土) 23日(日) 第一種電気工事士技能試験
7月25日(火) 26日(水) 第一級陸上無線技術士試験
7月27日(木) 28日(金) 第二級陸上無線技術士試験
8月19日(土) 第一種・第二種電気主任技術者試験(一次試験)
8月20日(日) 第二種電気主任技術者試験



9月22日(金)～24日(日) 東京ゲームショウ出展/今年も工学院は東京ゲームショウにブースを構えて10タイトル以上の学生作品を展示した。今年はいくつかの企業が新製品の発表をし、PS3やXboxなどの次世代機も隠されていたベールをついに脱ぎ姿を現した。

10月7日(土) 東海地区進級クラス
教育懇談会

10月15日(日) 情報処理技術者試験
/ 昨年のかもめ「自慢話」に紹介したよ
うに、特区(構造改革特区)制度を利用
したため、基本情報技術者試験で52名の
合格者を出すことができた。

10月17日(火) 体育祭/過去4年間
雨に祟られ実施ができなかった体育祭
だったが、今年は好天に恵まれ久しぶり
に鶴舞競技場に学生達の歓声が響きわ
たつた。優勝は電気工学科1年B組(担
任:平石先生)



10月21日(土) ゲーム関連特別講演
/ 学園祭の開催に合わせて、教育連携企
業である、バンダイナムコゲームス社よ
り、中村勲氏を招き、「ゲーム企画の比
較考察」と題して特別講演会を実施した。
10月21(土) 22日(日) 学園祭/今
年のテーマは「創(つく)る」日頃、

工学院で高度な資格取得を目指し、即戦
力となるための技術を学んでいるが、そ
れら専門的知識だけでなく、普段の学生
生活や遊びの中から得た経験を活かし、
未来を創造できる高い能力と技術を持
つた「人材」になるのではないかと
いった気持ちをごめて付けられたテーマ
である。



11月13日(月) ゲーム関連特別講演
/ ゲーム系学生を対象にした講演会で、
バンダイナムコゲームス社より、二村忍
氏を招き、プログラマーの仕事内容につ
いての講演会を実施した。

11月19日(日) 第一種・第二種電気
主任技術者試験(二次試験)

11月26日(日) 第27回全日本マイク
ロマウス大会/山形県長井市で行われ
た。本校から3台のマウスがエキスパー
トクラス決勝に進出、3台とも10位以内
に入賞し、本校に対して特別賞を受賞。
エキスパートクラス決勝 出走:24台
完走:21台

佐藤先生 11秒529 7位(日本人5位)
中村恵也君 11秒613 8位
渡辺哲也君 13秒217 9位

11月26日(日) 工事担任者試験
11月30日(木) 12月1日(金) 全
国専門学校卓球選手権大会/東京駒沢
オリンピック公園体育館にて第22回全
国専門学校卓球選手権大会が開催され
た。

個人戦/男子シングルス/第3位
矢野 翔太(OGデザイン科1年)
個人戦/男子ダブルス/第3位
伴 信行(電気工学科2年B組)
矢野 翔太(OGデザイン科1年)
団体戦/男子/第3位
伴 信行(電気工学科2年B組)
矢野 翔太(OGデザイン科1年)
藤澤 翔太郎(ロボット科1年A組)
中川 貴普(ロボット科1年A組)



12月11日(月) 放送業界関連特別講
演会/株式会社東海テレビプロダクショ

ンより伊藤慶勇氏を招き、放送業界の仕
事内容全般などについて放送系学生を
対象に講演会を実施

12月18日(月) 放送業界関連特別講
演会/株式会社三光より森裕高氏を招き
音響業界の仕事内容全般などについて
放送系学生を対象に講演会を実施

1月17日(水) 第2回入人会
1月23日(火) 24日(水) 第1級陸
上無線技術士試験
1月25日(木) 26日(金) 第2級陸
上無線技術士試験
3月8日(木) 茶話会
3月9日(金) 卒業式
3月15日(木) 16日(金) 学園総合
企業説明会
3月21日(水) 第11回熱田の森ロボ
ット競技会



工学院

五、七、五、
七七

応募総数51首 教職員の投票により、
22首を決定し、高得票順に掲載した。な
お、多人数の作品を掲載するため、重複
者には遠慮して頂いた。

今年は、5年ぶりで実施できた体育祭
の首題が多かった。また、就職や国家試
験など、工学院の世情を代表する作品が
多数見受けられた。



訪ね来る 卒業生の 顔かたち
細くなったり 丸くなったり
鈴木 由美子

過ぎし日の 友や恩師の 笑い声
想いを馳せる 学生時代
武田 善之

久々の 体育祭だ 心から
満足したね 君らも僕も
倉田 豊行

君たちの 学ぶ心に こたえます

電波学園 笑顔でハッピー
大石 建児

また思う 桜の蕾 開く頃
別れの季節(とき)が 訪れるとき
世古 哲也

5年ぶり やつと できたよ
体育祭 秋空眺め 心晴々
下里 充

教育は 現場なくして 成り立たぬ
生徒見ずして モノ言つなかれ
荒木 俊行

学生の 微妙な反応 見て気付く
言葉の重み 感じる日々かな
尾上 行男

解りません 習っていません
そんなこと
先週したこと 今日も教える
谷口 順一

学生と 一緒になって やる行事
笑顔まんべん 担任の顔
寺町 慶文

体育祭 学園祭と 行事過ぎ

クラスがまとまり 担任微笑む
木下 幸弘

教育の 中身を誇る 工学院
大学全入 生き残りかけ
吉戸 健朗

電験の 合格目指し 夏休み
歓喜の彼等 満足我等
小林 真治

秋晴れに NO.1の 勳章
やつと返還 ちよつと涙
高須 真人

学生の やる気を起こす 方法を
見つけなければ 見つかるように
真野 雅彦

夕暮れの 雲間に色づく 十三夜
月の満ち欠け 我が身を映す
隈元 良一

春の日に 明るい笑顔 今もまだ
明日を夢みて 若き志士たち
富田 重彰

就職が 意外と決まらず 予想外

景気良くても 実力全て
岩井 敬典

世界史の 補習期間は 大忙し
まとめて学べば 興味が湧くかも
村崎 博樹

秋晴れに 歓声上がる グランドと
人まばらなる 観覧席は
土肥 和紀

出来なくば
落とすと脅す 先生に
みんな落ちてても いいのと脅す
加藤 穰治

学生の ためだと思い 連日の
居残り努力 開花は遅く
荒井 智博



(11)

【特筆すべき学生】

最近の工学院で特筆する学生のコメントを挙げました。後輩の頑張りを讃えて下さい。



〔ゲームサイエンス科3年〕
高山真人 松本裕貴 福井一史
鳥山裕生 横山景太

スチューデントゲーム大賞

ノミネート

東京ゲームショウで発表された「第7回インテスチューデントゲーム大賞」に私たちのゲーム作品「STARDUST・BOND」がノミネートされました。

全国の学校から応募選出された289作品の中からノミネートされたのは、わずか10作品です。

「STARDUST・BOND」は、ゲームサイエンス科のチーム「インカローズ」が制作したアクションパズルゲームです。敵キャラや隕石をかわしつつ、星を繋いで妖精を空に返すのが目的です。

この受賞を光栄に思っていますし、私たちの励みにもなっています。今はさらに面白いゲーム作品を作りたいと、技術向上を目指して頑張っています。

全国専門学校卓球選手権大会3位

入学と同時に卓球部へ入部し愛知県大会、全国大会へ向けて練習してきました。学校の練習だけでなく地元での練習も重ね、愛知県大会で入賞し全国への切符を手に入れました。全国大会に向けさまざまな学校の学生と練習を行い、卓球を通じて交流が深まりすごく良い経験になりました。全国大会では団体戦、個人戦（シングルス、ダブルス）共に第3位という結果でしたので、来年は優勝できるように練習を続けていきます。

矢野 翔太（OGデザイン科1年）



マイクロマウス競技大会で

準優勝！

マイクロマウス競技は迷路のスタートからゴールまでの時間を競うタイムトライアル形式の競技です。（マイクロマウスとは迷路を自分で探索、記録し走行する自立制御ロボット）

マウスのソフトウェアとハードウェア、両方が上手くかみ合うことで初めて走行するため、総合的な知識、技術が必要となります。

全日本マイクロマウス大会10連覇を目標に連日遅くまで開発、調整を進めてきましたが、他の選手との実力差や緊張もあって、準優勝になってしまいました。汚名返上とはばかりに出場した山形県

開催マイクロマウス全国大会では、海外勢の選手に圧倒されながらも、学生第2位の結果を残す事ができました。

全国の技術者との情報交換は大変刺激になりました。このことは結果よりもより重要なことだと感じました。この経験は、より私たちを成長させてくれるものだと感じました。

マイクロマウスを卒業研究に選んで大変良い経験をしたと思います。社会に出てからはこの経験を活かして、技術者の極みを目指していきたいと思っています。

渡部哲也（メカトロニクス研究科）
中村恵也（総合制御システム科）



『第二の故郷・四国三郎』

校友会四国支部担当 高須 真人

校友会四国支部は、工学院校友会の中
でも歴史ある支部です。

この支部を、前担当の倉田先生から引き継いだ時、光栄過ぎて、私でいいのか戸惑いもありました。しかし同時に、発展させたいとの意欲も湧き上がったのを記憶しています。四国は前職の任地のため好感を抱いている地であり、第二の故郷的な存在でもあります。

私の中で、四国と言えば、吉野川が頭に浮かびます。四国の臍の辺りにある瓶ヶ森(標高1877m・高知県)から東の徳島県へ延びる大河です。

この吉野川を取り巻く自然、歴史、文化などから多くを学ぶ事が出来ます。今回は、吉野川に纏(まつ)わる話を紹介しようと思います。

吉野川は、古くから「四国三郎」と呼ばれ、利根川の坂東太郎、筑後川の筑紫次郎とともに日本の三大河川に数えられています。全長194km、流域面積3750平方kmのスケールを持ち、源流は瓶ヶ森の標高1200m地点にあります。清流の吉野川は、流域に多くの人口を抱えながら、今なお、清い流れを保っています。支流の穴吹川は、清流四国一に輝いていることも知られています。また、上流には日本三大秘境のひとつ西祖谷山村が

あり、吉野川の支流である祖谷川が流れ、水源の碧と木々の緑につつまれていきます。吉野川の名称の由来に関しては諸説粉々、二つの説が有力になっています。一つは、上流の三好郡から三好川、吉野川、吉野川に変化したとする説と、もう一つは、川岸が葦(よし)に覆われていたことから吉野川となったとする説があるそうです。

吉野川は、上流域に年間3000mmを超える多雨地域を控えているため、豊富な水量に恵まれています。数々の洪水は多量の土砂を押し流し、下流域に厚い沖積層の平野をつくり出しました。これが徳島平野です。この洪水によって、得た特産物が藍染めの素になる蓼藍(たであい)です。蓼藍は一年草で知られていますが、本来連作は難しいと言われていました。それを可能にしたのが吉野川の水源です。上流域は非常に雨が多く、そのため毎年大雨のたびに吉野川は洪水を起こしていました。その際、上流から栄養分の多い土が流され、連作が可能になったそうです。蓼藍はその品質において、他の産地のものにくらべて非常に優れ、全国でも圧倒的なシェアを誇るようになったのは吉野川に負うところが大きく、人々の暮らしを支えてきたと言っても過言ではないと思います。

吉野川流域の自然環境は、広大な流域面積に加え、気候も上流の内陸性気候が

ら下流の瀬戸内性気候まで変化に富んでいます。植物は温暖帯から亜寒帯にまで及び、豊富です。魚類は上流域の渓流魚から、河口部の汽水性のものまで多種にわたっています。鳥類は河口部の干潟や砂州四季を通じての飛来種が数多く生息しています。また、流域には剣山国立公園、石槌国立公園をはじめ多くの県立自然公園が点在していて、全体として山岳渓谷美に優れた自然景観が残されています。さらに、大歩危・小歩危、祖谷溪谷などの景勝地や、阿波の土柱、八坂神社の大楠等の天然記念物といった貴重な自然も見られます。その中でも

四国三郎、吉野川が大きく曲がるあたり四国の中央部の盆地に黒沢湿原があります。訪れる人も少なく、周囲を山に囲まれた小さい湿原ですが、秘境と云うにふさわしい閑静な佇まいです。特に夜明けの風景は神秘的な独特の風情があります。

春・夏・秋・冬、季節により様々な顔を見せてくれる吉野川流域。この水源の豊かさが自然、歴史、文化を生み、多くの人々の支えになっています。

今回、四国三郎を通して、校友会の方々に四国の素晴らしさをお伝えすることができ、幸いにも思っており、また支部の発展に全力を尽くす所存であります。

今後とも宜しくお願い致します。

編集後記

「現代は前進するだけでなく、一歩下がって考える必要がある」と言われる。生活が豊かになり、物があふれている世の中。精神的な問題が多発している。教育界では「いじめ」で自殺する生徒が激増した。亥年だからこそ、もう一度自分を見つめ直す必要があると痛感する。学問優先の教育から、ゆとり教育に変わり数年が経つ。今、その歪みが叫ばれ、元に戻る傾向がある。

OECD加盟国を中心に世界41カ国・地域の15歳男女、約27万9000人を対象とした調査によると、日本は7年前の調査で1位だった「数学的応用力」が6位に、同8位だった「読解力」も14位まで落ち込んだ。文部科学省は、日本の学力は「世界のトップレベルとは言えない」と、ショックを隠せない様子だ。

しかし、60点を超す上位層の生徒数は各国中もっとも多かった事実を見逃してはならない。せっかく精神教育を掲げたのだから、戻るのはなく、「改善」して続けて行く事を訴えたい。

猪突猛進と初心貫徹の相違を理解している卒業生の皆さん。一歩下がれば、道が拓ける事も念頭において頂ければ幸いです。

(善)

一歩
下がって